

現地見学会配布資料 2025/12/8公開

1, 旧湯屋小の歴史について

(写真集「刻まれた郷愁 湯屋小学校 写真・文 中島靖博」引用)

[学校沿革史]

明治9年 福應寺に仮教場を設け落合学校と称す
 明治16年 現在地に校舎を設け湯屋小学校と改称
 明治20年 湯屋簡易小学校と改称
 明治25年 湯屋尋常小学校と改称
 大正4年 湯屋高等尋常小学校と改称
 大正11年 校舎改築
 昭和11年 校地拡大
 昭和16年 湯屋国民学校と改称
 昭和22年 小坂町湯屋小学校と改称
 昭和29年 現校舎新築
 昭和43年 プール新設
 昭和50年 開校100年
 平成2年 北舎新築(体育館、ランチルームなど)
 平成16年 下呂市立湯屋小学校と改称
 平成24年 136年の歴史を閉じる

[児童数の推移]



[校章、校歌]



湯屋小学校 校歌

作詞 吉村比呂詩
作曲 山下 笛 朗



- 一、晴れゆく空に 御岳の 霊峰浮かぶ 気高さよ
花咲く庭の 朝夕に 親しき友と 仰ぎつつ
希望培う 学舎は 我等が湯屋小学校
- 二、濁河川の 水清く 流れは尽きぬ 豊かさよ
湯の香を運ぶ そよ風に 明るく胸を 躍らせて
身体きたえる 学舎は 我等が湯屋小学校
- 三、桧の林 奥深く 雲湧き出ずる 床しさよ
自然の愛と 師の君の 尊き教え 守りつつ
知徳を磨く 学舎は 我等が湯屋小学校

2. 使える部屋について

教室、職員室、理科室、音楽室、グラウンド、体育館など、プランに沿って希望を書いていただいても結構ですが、具体的にどの部屋にどの作品・企画をあてるのか、全エリアを鑑賞エリアとするのか、鑑賞者の導線などは、プロジェクト全体を通して総合ディレクターが判断します。

※使えない部屋(斜線部分)や、グラウンドで今後撤去されるものについては、図面をご確認ください。

3. 使える設備・備品について

現在残っている主な備品としては、教室の黒板、理科室の実験台のみです。

厨房、放送などの設備・機能はありません。

教室の机・椅子は集める予定ですが、そのほか設備・備品については必要に応じて作品予算内で用意していただくことになります。

4, 会場の施工について

基本的に現状復帰としますが、そこまで厳しいガイドラインはありません。プランによって相談していきます。

施工方法について、釘・ビス打ち、壁の増築・塗装など、一般的な展示施設の範囲内で判断してください。

詳しい施工方法や制作方法の質問は自由な発想を狭めるものですのでお控えください。

5, 予算案について

アーティストフィーを含まない作品制作に必要な制作費の実費を試算してください(材料費、交通宿泊費、搬入搬出費、アシスタント費、施工業者による工事費など)。

収入のあるプロジェクトについては収支計画もご提出ください。

プランを調整し、最終的な予算を決定します。

※企画のみの場合でディレクターが必要と判断した場合、ディレクターが推薦するアーティストとチームを組み、プログラムを実現させることがあります。このアーティストによる作品制作費については含めなくて結構です。

※小中学生による応募の場合、先生や親などの大人に相談するか、不明な場合は不明と記載してください。

個別問い合わせ(一部) 12/8公開

・現地見学会に行くことができないが、個別に見学可能か？

→個別の見学対応は受け付けておりません。公式ホームページにて、現地見学会の様子を動画で公開いたしますので、そちらをご覧ください。

・安価な宿泊の斡旋や宿泊場所の提供はあるか？

→宿泊場所の提供は無いと想定して、予算案の見積もりに含めて下さい。

旧湯屋小学校周辺であれば、小坂町にも宿泊施設がございます。

<https://hidaosaka-kanko.com/hotel/>

・会期中の簡単なメンテナンスについては、芸術祭スタッフにお願いすることは可能か？

→電源のON・OFFなどの日常的な作品公開の作業やメンテナンスについては、芸術祭スタッフで行います。